

## エラーダイアログ

エラー発生時に、ダイアログに出力されるメッセージ一覧は以下の通りです。

<b>エラーメッセージ</b>
スクリプトの実行に失敗しました。 エラー番号: 1 内容: 指定されたファイルを開くことができません。
<b>エラー内容</b>
変数一覧内の <b>データファイル名</b> 、または <b>まとめファイル名</b> に値が指定されていないか、 <b>データファイル名</b> に存在しないファイルが指定されています。 <b>データファイル名</b> 、または <b>まとめファイル名</b> の値を確認してください。
<b>エラーメッセージ</b>
スクリプトの実行に失敗しました。 エラー番号: 1 内容: 指定された範囲が無効です。
<b>エラー内容</b>
変数一覧内の <b>絞り込み範囲開始セル</b> 、 <b>絞り込み範囲終了セル</b> 、または <b>貼り付け位置</b> に値が指定されていないか、A1形式以外でセルが指定されています。 <b>絞り込み範囲開始セル</b> 、 <b>絞り込み範囲終了セル</b> 、または <b>貼り付け位置</b> の値を確認してください。
<b>エラーメッセージ</b>
スクリプトの実行に失敗しました。 エラー番号: 1 内容: 設定位置が指定されていません。
<b>エラー内容</b>
変数一覧内の <b>設定位置</b> に値が指定されていません。 <b>設定位置</b> の値を確認してください。

#### エラーメッセージ

スクリプトの実行に失敗しました。

エラー番号: 1

内容: 設定位置の形式が間違っています。

#### エラー内容

変数一覧内の**設定位置**にA1形式、またはR1C1形式以外でセルが指定されています。

**設定位置**の値を確認してください。

#### エラーメッセージ

スクリプトの実行に失敗しました。

エラー番号: 1

内容: 指定されたシートが見つかりません。

#### エラー内容

変数一覧内の**データシート名**、または**設定シート名**に存在しないシートが指定されています。

**データシート名**、または**設定シート名**の値を確認してください。

#### エラーメッセージ

スクリプトの実行に失敗しました。

エラー番号: 1004

内容: 保護されたシートに対して、このコマンドは使用できません。このコマンドを使用するには、まずシートの保護を解除してください（[校閲] タブの [変更] グループにある [シート保護の解除] をクリックします）。パスワードの入力を要求されることもあります。

#### エラー内容

変数一覧内の**データシート名**に指定したシートが保護されています。

指定したシートを確認してください。